

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日(主幹等)	26年3月31日
2次評価日(課長等)	26年3月31日

事務事業評価表(一般事業)

1 事業名	読書普及活動事業	コード	103205
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課(図書館)	作成者 平林 洋子
--------	--------	---------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実
		予算科目	読書普及活動費	業務委託	なし(直営)
		実施義務	あり(義務的・標準的事業)	国県補助	なし
		根拠法令	図書館法(第1条:図書館の設置及び運営について必要な事項を定める。)		

●事業の内容(D0)

4 事業の概要等		*対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)	
事業の概要(簡潔に)	おはなし会やイベント、講座等の開催により図書館を身近な存在にし、読書普及を図る。		
目的	対象者	市民	
	意 図	読書普及活動を通じて子どもから一般市民まで、読書に関する意欲を喚起する。	

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>1. 子ども向けの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おはなしの森」、「ちいさなおはなしの森」、「おはなしの森特集」、「夏休み特集おはなしの森」等 図書館職員と読み聞かせボランティアにより実施68回 1,267人参加 工作教室(夏、冬)、としょかんキッズ(夏、春休み) 8回 110人参加 子ども読書まつり(10/26、27) 861人参加 乳幼児サークル、小学校、職員派遣によるおはなし会 19回 958人参加 ファーストブックプレゼント事業 絵本配布数 370冊 子ども読書会議(2/19)各小学校児童会図書委員会の活動発表、情報交換 児童 23名参加 <p>2. 市民向けの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土作家コーナー、ビジネスコーナー、闘病記コーナーの設置 図書リサイクル事業 322人来場、リサイクル図書数 2,779冊 まちかど図書館の設置 市内公共施設(市民病院、生涯学習センター、ロネット、諏訪湖ハイッ、勤青ホーム、市役所、市民総合体育館、美術考古館)、出張まちかど図書館として市役所9階確定申告会場に設置 図書館de講座の開催 「プランターから始める野菜栽培」「郷土の歴史講座」2回 53人 <p>3. 読み聞かせボランティア団体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなしの森、子ども読書まつり参加 おはなしだいすきポポーの木 読み聞かせ講座 3回 178人 <p>4. 読書関係団体の育成、会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA図書委員会への配本、PTA図書委員会の子ども読書まつり参加(長地小、神明小) 読書サークル協議会「文学散歩」(6/16)29人参加、文化講座(10/5)38人参加、日曜日の読書会(毎月) <p>5. 読み聞かせ、行事、一般業務ボランティア 延べ 267人参加</p>			
前年度の課題への対応	・読み聞かせグループの連絡会を設け、それぞれの活動の情報交換を行った。		

6 指標の達成状況		*活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標(指標名)	読書普及活動事業の開催数			単位	回
実績値	107	108	106		
*指標の説明	読書普及活動事業の開催数				
② 成果指標(指標名)	事業への参加者数			単位	人
目標値	7,000	5,800	5,800	5,800	
実績値	5,879	4,963	4,453		
達成度	84.0%	85.6%	76.8%		
*指標の説明	読書普及活動事業への参加者数				

* 目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加数の最高値
---------------	---------------

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	5,058,387	6,571,339	5,743,825	4,406,800
経常経費	3,160,086	6,571,339	5,743,825	4,406,800
臨時的経費	1,898,301	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	5,600,000	4,400,000	4,400,000	0
正規職員の人数(人)	0.70	0.55	0.55	
③ 合計コスト(①+②)	10,658,387	10,971,339	10,143,825	4,406,800
前年度比		102.9%	92.5%	43.4%
財源				
一般財源	8,760,086	10,971,339	10,143,825	4,406,800
内訳 特定財源	1,898,301	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	81,870	101,586	95,696	
前年度比		124.1%	94.2%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 89.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 76.8%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	①乳幼児や高齢者等に対する読み聞かせのスキルアップが課題である。 ②読書活動団体やボランティアグループとの更なる協力体制や情報交換ができる仕組みの構築が課題である。 ③学校で「朝読」が定着しているように、家庭での読書の時間の定着が課題である。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	①策定された「第2次岡谷市子ども読書推進計画」を軸に各部署が連携し読書普及活動を推進する。 ②読書活動団体やボランティアグループと連携を密にし、情報交換や情報提供をし、レベルアップを図る。 ③事業の周知を図るため、広報やシルキーチャンネル、ホームページ、図書館メールマガジンの活用と、新聞記事掲載、館内チラシ、呼びかけ等あらゆる広報活動を積極的に行う。	
	改善開始時期	平成26年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---